

# 事業評価結果(課・室)総括表

事業年度 令和8年度

部局名 健康福祉部

所属名 こども未来課

(単位:千円)

事業名	福井県長期ビジョンにおける位置づけ	経費区分	事業開始年度	事業終了年度	予算額	決算額	財源内訳			評価区分
							国庫	その他特定財源	一般	
すみずみ子育てサポート事業	4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進	政策的経費	平成16年度	令和11年度	111,315	—			111,315	継続
福井県こども・子育て応援計画推進事業	4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進	政策的経費	平成17年度	令和11年度	7,669	—	5,112		2,557	継続
子育てマイスター地域活動推進事業	4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進	政策的経費	平成17年度	令和11年度	1,353	—			1,353	継続
地域少子化対策重点推進交付金市町補助	4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進	政策的経費	平成26年度	令和11年度	2,978	—	2,978			継続
ふくいの在宅育児応援手当支給事業	4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進	政策的経費	令和2年度	令和11年度	81,122	—			81,122	継続
「ふく育」応援事業	4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進	政策的経費	令和3年度	令和11年度	20,031	—	12,987		7,044	継続
こどもの遊び場整備事業	4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進	政策的経費	令和3年度	令和8年度	732,813	—		732,000	813	継続
㊦「ふく育」ブランド定着事業	4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進	政策的経費	令和4年度	令和11年度	31,071	—	4,000		27,071	拡充
㊦「ふく育サービス」利用支援事業	4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進	政策的経費	令和6年度	令和11年度	93,467	—			93,467	拡充
地域振興基金積立金(子育て支援分)	4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進	政策的経費	令和7年度	令和8年度	1,500,000	—			1,500,000	継続
㊦ふくいの共育応援企業奨励金事業	4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進	政策的経費	令和5年度	令和11年度	198,148	—	75,169		122,979	拡充
病児保育・一時預かり事業(子だくさんふくいプロジェクト分)	4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進	政策的経費	令和2年度	令和11年度	24,492	—			24,492	継続
㊦母子保健支援事業	4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進	政策的経費	令和4年度	令和11年度	6,491	—	1,965		4,526	拡充
㊦プレコンセプションケア推進事業	4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進	政策的経費	令和7年度	令和11年度	19,092	—	2,141		16,951	拡充
不妊治療費助成事業	4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進	政策的経費	平成16年度	令和11年度	243,691	—	84,376		159,315	継続
妊婦のための支援給付事業	4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進	政策的経費	令和4年度	令和11年度	7,014	—	5,063		1,951	継続
旧優生保護法一時金支給に伴う事務費	4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進	政策的経費	令和6年度	令和11年度	2,303	—	2,303			継続
㊦放課後児童クラブ等充実支援交付金	4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進	政策的経費	令和8年度	令和10年度	31,500	—			31,500	—
こども・子育て伴走応援事業	4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進	政策的経費	令和7年度	令和7年度		—				完了
産後ケア支援事業	4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進	政策的経費	令和7年度	令和7年度		—				完了
放課後児童クラブ持続可能な職場づくり対策事業	4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進	政策的経費	令和5年度	令和7年度		—				完了
					3,114,550		196,094	732,000	2,186,456	

		健康福祉部	こども未来課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進				事業開始年度	平成16年度
すみずみ子育てサポート事業				事業終了年度	令和11年度
事業目的	近年の少子化や核家族化の進行に伴う家族形態の変化および都市化の進展に伴い、家族や地域社会が担ってきた子育て支援機能が低下してきていることから、既存の子育て支援制度では補いきれないきめ細やかなニーズに柔軟に対応する。				
事業内容	(1) 市町が実施するサポート事業に要する経費の一部補助 (2) 実施団体を対象とした研修実施 (3) 事業の周知、広報				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	111,315	—			111,315
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	延べ利用者数（人）	40,000	-	令和7年度
	活動指標	延べ実施箇所数（箇所）	80	96	令和7年度
事業評価	令和8年1月末時点における延べ利用者数の実績見込みは約48,000人であり、目標達成となる見込み（実績確定は令和8年4月）。実施箇所数も増加しており、一時的な託児など、子育てサポートを必要とする方の需要に対応できている。				
区分	継続				

		健康福祉部	こども未来課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進				事業開始年度	平成17年度
福井県こども・子育て応援計画推進事業				事業終了年度	令和11年度
事業目的	「福井県子ども・子育て支援計画」を「都道府県こども計画」と一体のものとして改定するにあたり、次代の社会を担う全てのこどもが将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会を実現する計画とするため、県民調査の結果やこどもや子育て当事者、有識者等との意見交換をふまえ、改定・進捗管理を実施する。				
事業内容	(1) 福井県こども・子育て応援会議の開催 福井県こども・子育て応援計画（R7～11）に掲げる施策の実践・推進に関する事等 (2) 福井県子育て意識調査の実施 県民に対し、子育てに対する意識についてアンケート調査を実施し、結果を分析する。				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	7,669	—	5,112		2,557
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	ふく育県の評価 (評価している方の割合)(%)	72.8	70.4	令和7年度
	活動指標	会議の実施回数(回)	1	1	令和7年度
事業評価	福井県こども・子育て応援会議については、目標通り実施。引き続き計画の進捗について、会議で報告していく。ふく育県の評価については目標未達となった一方、施策の認知度等は着実に向上してきており、ふく育県の良さを着実に県民に伝える周知広報に努めていく。				
区分	継続				

		健康福祉部	こども未来課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進				事業開始年度	平成17年度
子育てマイスター地域活動推進事業				事業終了年度	令和11年度
事業目的	地域で子育て中の保護者が気軽に相談できる環境を整備するため、子育てに関わりのある有資格者を、県が「子育てマイスター」として認定登録し、活動を支援する。				
事業内容	(1) 子育てマイスターの募集、登録 (2) 子育てマイスターの活動支援 (3) 子育てマイスターの資質向上（研修会の開催）				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	1,353	－			1,353
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	マイスター登録者数(人)	400	334	令和7年度
	活動指標	マイスター活用回数(回)	800	－	令和7年度
事業評価	令和8年2月末現在のマイスター登録者数は334人であり、年齢を理由とする活動辞退者の増加等のため目標未達となる見込み（記載の実績値は令和8年2月時点、実績確定は令和8年4月頃）。 マイスター活用回数は、令和7年度補助金に係る申請額が昨年と同等の金額である（昨年度活用回数1,039回）ことから、目標達成となる見込み（実績確定は令和8年5月頃）				
区分	継続				

		健康福祉部	こども未来課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）			経費区分	政策的経費	
4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進			事業開始年度	平成26年度	
地域少子化対策重点推進交付金市町補助			事業終了年度	令和11年度	
事業目的	地域における少子化対策の推進のため、結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり・機運醸成の取組みを行い、若い世代が、将来の様々なライフイベントに柔軟に対応できるよう、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを図る。				
事業内容	令和8年度実施予定事業 【あわら市】男性の家事・育児参画事業（親子の料理教室） 【越前市】命のぬくもり体験学習支援事業 【坂井市】「赤ちゃん抱っこ体験学習」事業				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	2,978	—	2,978		
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	交付金事業の完了市町数(市町)	4	4	令和7年度
	活動指標	交付金の交付市町数(市町)	4	4	令和7年度
事業評価	令和7年度は、本交付金の活用を希望し、事業を実施した全市町に交付決定を行い、以下の4市町6事業が国事業として採択された。令和8年2月時点の実績は4市町であり、すでに交付決定を行っていることから、目標達成となる見込み（実績確定は令和8年4月） 【敦賀市】男性の家事・育児参画促進事業 【あわら市】男性の家事・育児参画促進事業 【越前市】命のぬくもり体験学習支援事業 【坂井市】赤ちゃん抱っこ体験学習事業、ライフデザイン事業、男性の家事・育児参画促進事業				
区分	継続				

		健康福祉部	こども未来課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進				事業開始年度	令和 2年度
ふくい在宅育児応援手当支給事業				事業終了年度	令和11年度
事業目的	理想のこども数は3人だが実際は2人という主な理由は「経済的負担」と「肉体的・精神的負担」であり、中でもこどもが2人の世帯の負担感が大きくなっているため、子育ての負担が大きい低年齢児の家庭での子育てを支援することにより、2人目、3人目の出産につなげていく。				
事業内容	第2子以降の0～2歳児について、保育所等を利用せず在宅で育児する世帯へ月額1万円の育児手当を支給 ・実施主体：市町				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	81,122	—			81,122
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	子育て意識調査における事業評価 (評価5以上の割合(上限10)(%))	60.0	60.5	令和7年度
	活動指標	実施市町数	17	17	令和7年度
事業評価	子育て意識調査における事業評価にて、本事業の評価を5以上（上限10）とした者の割合が60.5%となり、目標を達成。県の子育て施策に対する県民評価の上昇を確認した。活動指標としては17市町で本事業を実施しており目標を達成した。				
区分	継続				

		健康福祉部	こども未来課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進				事業開始年度	令和 3年度
「ふく育」応援事業				事業終了年度	令和11年度
事業目的	子育て世帯や妊婦を応援する店舗等を「ふく育応援団」として募集し、子育て世帯等に優待サービスを行う「ふく育パスポート」を運営する。また、子育て応援サイト「ふく育」にて子育て支援情報を発信することにより、妊娠・出産・子育てを社会全体で応援する機運を醸成し、子育て世帯等がお得感や安心感を持ちながら楽しく子育てできる環境を整える。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふく育」応援団による子育て応援の推進 ふく育パスポート事業の実施、「ふく育」応援団魅力アップ事業の実施 等</li> <li>・県子育て応援サイト「ふく育」の運営管理</li> <li>・LINEやふくアプリを活用した子育て支援情報等の発信</li> </ul>				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	20,031	—	12,987		7,044
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	ふく育パスポートの利用満足度(%)	60	81	令和7年度
	活動指標	パスポート会員数(人)	66,000	69,117	令和7年度(R7.12末時点)
事業評価	<p>ふく育パスポートの利用満足度について目標を達成した。令和7年度中は、ふくアプリとの連携などユーザーのニーズに応える改修を行ったことから満足度が大きく伸びた。今後も定期的に調査を実施していく。</p> <p>パスポート会員数についても目標を達成する見込み。(実績確定は令和8年4月) 令和7年度中は、県産米消費キャンペーンとのタイアップや、ひとり親世帯をプレミアムパスポートの要件に追加するなど、ふく育パスポートの利用促進に向けた取組を複数実施したことから例年よりも会員数が伸びた。</p>				
区分	継続				

		健康福祉部	こども未来課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進				事業開始年度	令和 3年度
こどもの遊び場整備事業				事業終了年度	令和 8年度
事業目的	天候にかかわらず子どもたちが安心して遊ぶことができる遊び場を充実し、心身ともに健やかなこどもの育ちを支援する。				
事業内容	市町が全天候型の遊び場を新設、機能向上のための改修等をする際の整備費等を補助 ○補助対象経費：整備費（備品購入費（遊具等）、委託料（設計等）、工事費 等） ○補助上限額（補助率）：1市町あたり上限100,000千円（10/10） ○事業期間：令和4年度～令和8年度				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	732,813	—		732,000	813
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	こどもの遊び場整備箇所数(箇所)	6	6	令和7年度 (R8.3時点)
	活動指標	こどもの遊び場整備補助市町数(市町)	15	15	令和7年度 (R8.3時点)
事業評価	・15市町に対して交付決定を行い、目標どおり6市町で整備を完了。 <事業実績> 整備完了：6市町（福井市、小浜市、大野市、坂井市、永平寺町、若狭町） 補助市町数：15市町 ※鯖江市、南越前町は令和8年度着手予定				
区分	継続				

		健康福祉部	こども未来課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進				事業開始年度	令和 4年度
④ 「ふく育」ブランド定着事業				事業終了年度	令和11年度
事業目的	県が行った結婚・子育てに関するニーズ調査によると、「子育ては大変」というネガティブなイメージが先行しており、子育てに対する県民や県内企業の意識改革が必要である。そこで、若者・子育て世帯に対し、本県の充実した子育て環境や子育て施策等を様々な手法でPRすることで子育てに対するポジティブなイメージの醸成を図る。				
事業内容	(1) 「ふく育県」PRの実施 テレビCMやSNS公告の放映、子育て応援イベント等を実施 (2) 「ふく育県」幼児教育ブランディング事業 本県の幼児教育の取り組みについて、県外大学等と協働した成果分析・研究を実施				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	31,071	—	4,000		27,071
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	子育てに「楽しみや喜び」のイメージを持っている県民の割合(%)	48	44.5	令和7年度
	活動指標	SNS広告視聴数(回)	250,000	266,757	令和7年度
事業評価	成果目標は未達成となったが、本県の充実した子育て環境や施策等を様々な手法で発信し、子育てへの前向きなイメージの醸成、ファミリー層を中心とした移住者の増加につなげることができた。 <事業実績> テレビCMおよびSNS（Instagram、YouTube）広告、デジタルサイネージ広告の実施 県内子育て施策等をまとめた「ふく育県新聞」「ふく育ハンドブック」の発行 幅広い年代の親子が楽しめる「ふく育こどもフェスタ」の開催 全天候型のこどもの遊び場における「ふく育県クイズラリー」の実施				
区分	拡充				

		健康福祉部	こども未来課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進				事業開始年度	令和 5年度
⑧ ふくいの共育応援企業奨励金事業				事業終了年度	令和11年度
事業目的	子の「共育て」が当たり前となる社会の実現を図るため、引き続き、男性育休の取得促進に向けて、1社最大600万円の企業向け奨励金を支給するとともに、「共育て」を阻害する長時間労働の是正に向けて、育児短時間勤務に積極的に取り組む企業向けの奨励金を拡充し、男女がともに仕事と育児を両立できる「ふく育県」の環境づくりを推進する。				
事業内容	(1)男性従業員が育児休業を取得した企業に対し、実績に応じて最大600万円の奨励金を支給 (2)育児短時間勤務を利用した企業に対し、実績に応じて20万円または40万円の奨励金を支給 (3)就業規則等に定める不妊治療休暇を従業員が取得した企業に、最大10万円の奨励金を支給				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	198,148	—	75,169		122,979
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	男性育休取得率の年間上昇率(%)	10.0	-	令和7年度
	活動指標	奨励金の対象者数(人)	330	348	令和7年度 (R8.2未現在)
事業評価	奨励金の対象者数は目標を達成。男性育休取得率の年間上昇率は、目標達成に必要な育休取得者数（約330人）を奨励金の申請者数（348人）により確保できており、目標達成となる見込み（取得率確定は令和8年5月末頃）。 ※県内企業で働く男性の家庭で生まれるこどもの数は約3,300人と推計されており、毎年10%ずつ男性育休取得率を上げるためには取得者を約330人増やす必要あり				
区分	拡充				

		健康福祉部	こども未来課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進				事業開始年度	令和 6年度
④ 「ふく育サービス」利用支援事業				事業終了年度	令和11年度
事業目的	子育て世帯をサポートするふく育サービス（「ふく育さん」と「ふく育タクシー」）の一層の利便性向上とサービスの普及を図るとともに、妊婦世帯や産後間もない新生児世帯、ひとり親・多胎児家庭など、育児負担が大きい世帯に対する利用支援を実施する。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふく育サービスプラットフォーム（一元的な申込窓口体制）の運営</li> <li>・育児負担が大きい世帯等を対象としたふく育サービスの利用支援</li> <li>・「ふく育さん」の事業運営</li> <li>・「ふく育タクシー」の運行支援</li> </ul>				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	93,467	—			93,467
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	延べ利用件数(件)	3,000	-	令和7年度
	活動指標	利用可能市町数(市町)	17	17	令和7年度
事業評価	延べ利用件数は令和8年1月時点で3,687件となり、目標達成の見込み（実績確定は令和8年4月）。子育てサポートを必要とする多くの世帯に、ふく育サービスの利用を促進することができた。				
区分	拡充				

	健康福祉部	こども未来課	事業年度	令和 8年度	
1 個性を伸ばす（人材力）			経費区分	政策的経費	
4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進			事業開始年度	令和 7年度	
	地域振興基金積立金（子育て支援分）		事業終了年度	令和 8年度	
事業目的	ライフステージを通じて切れ目なく子育て世帯を応援するため、地域振興基金を積み増しし、「ふく育県」の施策を推進				
事業内容	地域振興基金への積み立てを行う				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	1,500,000	—			1,500,000
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	—	—	—	—
	活動指標	—	—	—	—
事業評価	本事業は、基金への積み立てのための予算事業であり、成果指標、活動指標を設けることはしない。				
区分	継続				

		健康福祉部	こども未来課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進				事業開始年度	令和 2年度
病児保育・一時預かり事業（子だくさんふくいプロジェクト分）				事業終了年度	令和11年度
事業目的	病児保育および一時預かりを利用する際にかかる利用料について、多子世帯の児童の利用料を無料化することにより、経済的負担を軽減する。				
事業内容	・未就学の第2子以降または多胎児の第1子が、病児保育および一時預かりを利用した際の利用料を補助 実施主体：市町 補助基準額：2,000円/日、1,000円/半日 補助率：県1/2、市町1/2				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	24,492	—			24,492
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	延べ対象者数(人)	22,000	-	令和7年度
	活動指標	実施施設数	290	297	令和7年度
事業評価	令和8年1月末時点における延べ対象者数の実績見込みは約24,000人であり、目標達成となる見込み（実績確定は令和8年4月）。多子世帯の経済的負担を軽減し、より多くの方に病児保育、一時預かり事業を利用頂くことができました。				
区分	継続				

		健康福祉部	こども未来課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進				事業開始年度	令和 4年度
㊦ 母子保健支援事業				事業終了年度	令和11年度
事業目的	多胎家庭や育児不安のある保護者への支援を充実させるとともに、母子保健の多様なニーズに対応するために、母子保健従事者の資質の向上を図る。				
事業内容	○研修会、母子保健情報交換会の開催、乳幼児健診ワーキングの開催 ○多胎ピアサポート事業の実施、ふたご手帖の配布 ○育児不安解消サポート事業の実施				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	6,491	－	1,965		4,526
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	この地域で今後も子育てしたい割合(%)	90	90	令和7年度
	活動指標	研修会参加者(人)	200	527	令和7年度
事業評価	成果目標を達成。研修会のアンケートでは満足度が高く、今後も研修継続希望があった。 <事業実績> 研修会の開催 5回 参加者 527人 母子保健情報交換会の開催 5回 乳幼児健診ワーキングの開催 3回				
区分	拡充				

		健康福祉部	こども未来課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進				事業開始年度	令和 7年度
④ プレコンセプションケア推進事業				事業終了年度	令和11年度
事業目的	男女を問わず若年世代を含む県民が、性や妊娠に関する正しい知識を得たり、気軽に相談できる場をつくることによって、将来のライフプランを考えて日々の生活や健康と向き合うことを推進するとともに、将来妊娠・出産を希望する住民の理想のライフプランやウェルビーイングの実現を目指す。				
事業内容	①プレ妊活健診：18～39歳の男女を対象（プレコンセプションケア動画の視聴必須）とし、血液検査、性感染症、超音波検査等の3万円相当の検査を無料で受けられるよう助成 ②相談窓口の開設：不妊・不育に関する相談、妊娠・出産・月経不順、思春期も含む女性の心身の相談等について、助産師による電話、面接、メール相談を実施。				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	19,092	—	2,141		16,951
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	助成件数(件)	100	—	令和7年度
	活動指標	クーポン配布件数(件)	100	102	令和7年度
事業評価	クーポンの配布件数は目標を達成。成果目標である助成件数は1月末時点で59件となり、年度内の達成に向けて対象者への周知を強化する（実績確定は令和8年4月） ＜その他実績＞ ・助産師による健康相談：64件（令和8年1月時点） ・プレコンセプションケアに関する動画視聴回数：139回（令和8年2月時点） ・動画を視聴して学んだ知識を実践する意思がある方の割合：99.1％ （うち21.6％が「すでに実践中」と回答）				
区分	拡充				

		健康福祉部	こども未来課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進				事業開始年度	平成16年度
不妊治療費助成事業				事業終了年度	令和11年度
事業目的	不妊治療費、不育症検査費への助成を実施することで、こどもを産み育てたい人がこどもを持つことを諦めない環境を整備し、出生率の向上を図る。				
事業内容	<特定不妊治療> 対象の治療に対して自己負担額が6万円を超えないよう助成 <不妊検査・一般不妊治療> 自己負担額の1/2を助成（上限3.5万円） <不育症> 先進医療として告示されている不育症検査にかかる費用の7/10を助成（6万円上限）				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	243,691	—	84,376		159,315
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	妊娠の希望を実現できた助成対象者数（人）	450	—	令和7年度
	活動指標	助成件数(件)	2,000	—	令和7年度
事業評価	助成件数は令和7年12月末時点で1,468件であり、月平均の件数あたりでは活動目標をやや下回る状況にあるが、妊娠の希望を実現できた助成対象者数は令和7年12月末時点で432件となり、月平均の件数あたりでは成果目標を達成できる見通し。当該事業を通じて不妊治療の経済的負担を軽減し、妊娠・出産の希望を実現できる方を増やしていく。				
区分	継続				

		健康福祉部	こども未来課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進				事業開始年度	令和 4年度
妊婦のための支援給付事業				事業終了年度	令和11年度
事業目的	妊娠期から出産・子育てまで、一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実と経済的支援を一体的に実施することで、すべての妊産婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境を整備する。				
事業内容	市町の妊婦のための支援給付のための人件費や振込手数料等の事務費を補助（国1/2、県1/4、市町1/4） クーポン等で支給のためのランニングコスト（システムの保守費用、クーポン等支給のための委託費）を補助（国10/10）				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	7,014	—	5,063		1,951
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	妊娠・出産について満足している者の割合(%)	85	86	令和7年度
	活動指標	妊娠届出・出産、産後の全数面談実施市町数(市町)	17	17	令和7年度
事業評価	活動目標、成果目標ともに達成。妊産婦への経済的支援と併せて包括相談支援を効果的に組み合わせ、妊娠期から出産・育児期までの切れ目のない支援を行うことができた。 <事業実績> ・産後、退院してからの1か月程度、助産師や保健師等からの指導・ケアが十分に受けられると回答した者の割合 86% ・妊娠届出・出産、産後の全数面談実施市町数 17市町				
区分	継続				

		健康福祉部	こども未来課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進				事業開始年度	令和 6年度
旧優生保護法一時金支給に伴う事務費				事業終了年度	令和11年度
事業目的	旧優生保護法に基づく優性手術等を受けた者等に対する補償金等の支給等に関する法律に基づき、国の補償金等申請に係る相談対応・受付・調査を行う。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の補償金等申請に係る相談対応・受付・調査</li> <li>・制度の周知（新聞広告、新聞折込チラシ、関係機関へのポスター・リーフレット配布）</li> </ul>				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	2,303	－	2,303		
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	相談件数(件)	-	13	令和7年度
	活動指標	関係機関への周知箇所(箇所)	800	806	令和7年度
事業評価	<p>国補償金等の対象者に関する情報が残存しておらず、相談対象となる方を把握できないため、成果指標となる相談件数の目標設定が困難（事業の実績値のみ把握対象とする）</p> <p>&lt;事業実績&gt;  新聞広告、新聞折込チラシ（185,000部）  関係機関へのポスター・リーフレット配布（806か所）</p>				
区分	継続				

		健康福祉部	こども未来課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進				事業開始年度	令和 8年度
⑧ 放課後児童クラブ等充実支援交付金				事業終了年度	令和10年度
事業目的	県内の放課後児童クラブは、市町ごとに直面する課題が異なることから、県内すべての市町が地域の実情に応じた課題解決に柔軟に対応できるよう、環境改善や昼食提供、人材確保等の取組みを支援する交付金を創設し、児童の安全・安心な居場所作りを推進する。				
事業内容	(1) 児童クラブの環境改善 (2) 受入れ体制の拡大 (3) 長期休暇中の昼食提供 (4) 人材の確保、定着促進				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	31,500	—			31,500
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	課題を解決した市町数	14	—	令和8年度
	活動指標	交付金を活用した市町数	14	—	令和8年度
事業評価	—				
区分	—				

		健康福祉部	こども未来課	事業年度	令和7年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進				事業開始年度	令和7年度
こども・子育て伴走応援事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	困難な状況に置かれたこども・若者や子育て世代に寄り添った様々な主体の活動を応援することで、「福井県こども・子育て応援計画」で掲げる「社会全体で子育てを応援する」地域づくりを推進する。				
事業内容	○こども・子育てに関する自主活動に取り組む団体等への応援金の創設 〔こどもチャレンジ応援枠〕こども目線の自主的な挑戦を応援（上限10万円・5件） 〔団体活動応援枠〕こども・若者や子育て世代への伴走活動を応援（上限50万円・5件）				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	3,030	—			3,030
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	伴走活動が展開された延べ市町数	30	79	令和7年度
	活動指標	応援金交付件数(件)	10	8	令和7年度
事業評価	こどもチャレンジ応援枠では県内高校生グループなど2件、団体活動応援枠では障がい児とその家族の支援に取り組む団体や、外国人との共生に取り組む団体など6件を採択。困難な状況に置かれたこども・若者や子育て世代に寄り添った様々な主体の活動の展開を、目標件数を超えて応援することができた。 <事業実績>				
区分	完了	応援金応募件数：12件（こどもチャレンジ枠2件、団体活動応援枠10件） 応援金交付件数：8件（こどもチャレンジ枠2件、団体活動応援枠6件）			

		健康福祉部	こども未来課	事業年度	令和7年度
1 個性を伸ばす（人材力）				経費区分	政策的経費
4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進				事業開始年度	令和7年度
産後ケア支援事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	出産後も安心して子育てができる支援体制を確保するため、出産後1年以内の母子に対して、心身のケアや育児のサポート等を実施する。また、里帰り出産の妊産婦に対しても切れ目のない支援を提供する体制を整備する。				
事業内容	産後ケア事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・産後ケア事業（子ども・子育て支援交付金事業で実施）</li> <li>・赤ちゃん無呼吸センサーの設置</li> </ul> 里帰り出産の妊産婦への支援（情報提供）				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	396	—			396
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	産後ケアをうけた人数(人)	1,800	-	令和7年度
	活動指標	センサー設置箇所数(箇所)	9	9	令和7年度
事業評価	産後ケア事業実施施設への赤ちゃん無呼吸センサーの設置に関しては目標を達成する見込み。本取組以外にも里帰り出産に関する情報提供ちらしの配付により、妊産婦の安心感が高まった。産後ケアをうけた人数の令和7年度実績は、令和8年5月ごろに確定する予定				
区分	完了				

		健康福祉部	こども未来課	事業年度	令和 7年度
1 個性を伸ばす（人材力）			経費区分	政策的経費	
4 こども・子育ての“よろこび”を次世代につなぐ「ふく育県」の推進			事業開始年度	令和 5年度	
放課後児童クラブ持続可能な職場づくり対策事業			事業終了年度	令和 7年度	
事業目的	人手が不足する放課後児童クラブのイメージアップを図りつつ、県全体での求人对策を実施し、併せて施設で働く職員のメンタルケアを行うことにより、放課後児童クラブの安定的な人材確保による県内全体のサービス維持を目指す。				
事業内容	(1) 放課後児童クラブ就職説明会 就職説明会を開催し、求職者が希望する施設で働けるようマッチングを行う。 (2) 放課後児童クラブへの相談員派遣 放課後児童クラブに臨床心理士等を派遣し、相談対応や勤務環境づくりの助言を実施				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	1,320	－			1,320
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	就職説明会の参加者数	30	12	令和7年度
	活動指標	就職説明会の開催回数	2	2	令和7年度
事業評価	就職説明会を求職者が多く来訪するハローワークで実施するなど工夫したが、参加事業所が少なかつたこともあり、参加者数が伸び悩み、目標未達となった。 <事業実績> ・市民プラザ武生実施分 4 名参加 ・ハローワーク福井実施分 8 名参加				
区分	完了				